

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けての開催事業  
北信越ユネスコスクール交流会 in 金沢 2019

## 開催結果報告

### 1 日時

2019年8月8日(木) 13:30~16:30

### 2 場所

金沢勤労者プラザ 101 研修室  
(石川県金沢市)

### 3 出席者

54名



### 4 プログラム

#### 1. 開会挨拶

加藤 隆弘 氏(北信越ユネスコスクール交流会 in 金沢 2019 実行委員長)

#### 2. ESD・ユネスコスクールを巡る最新の動向

鈴木 克徳 氏(ESD 活動支援センター 副センター長)

#### 3. 『金沢 SDGs IMAGINE KANAZAWA 2030』の推進について

笠間 彩 氏(金沢市都市政策局企画調整課 主査)

#### 4. 私がESDで大切にしていること~5年・6年の2か年の総合の実践から~

尾島 良幸 氏(富山県舟橋村立舟橋小学校 教諭)

#### 5. スモールグループによる討議・発表準備

#### 6. 各グループからの発表

#### 7. 閉会

### 5 配布資料

資料1 プログラム・ESDの取組資料・年次報告書

資料2 ESD・ユネスコスクールを巡る最新の動向

資料3 金沢 SDGs IMAGINE KANAZAWA 2030

『私たちが目指す世界』(ハンドブック)

資料4 私がESDで大切にしていること~5年・6年の2か年の総合の実践から~

資料5 参加者アンケート

資料6 その他(「中部西ブロック・ユネスコ活動研究会 in 金沢」(開催案内))

### 6 議事録要旨

## 7 参加者アンケート結果

- 調査票の回収数：35件／参加者54名中

### (1) 交流会（ダイアログ）に対する評価について

- 今回の交流会（ダイアログ）に対し、アンケートに回答した35名のうち「良かった」が22名、「まあまあ良かった」が13名で、「良くなかった」等と答えた回答者はゼロであった。

### (2) 交流会（ダイアログ）における交流の可否について

- ほかの参加者と交流ができたか否かについての設問では、「十分に交流できた」が14名、「まあまあ交流できた」が19名で35名のうち計33名が交流できたと回答している。
- 一方、残り2名は「あまり交流できなかった」と答えている。

	●今回の催事はいかがでしたか					●ディスカッション等でほかの参加者と十分に交流できましたか				
	良かった	まあまあ良かった	あまり良くなかった	良くなかった	無回答	十分にできた	まあまあ	あまり	ほとんどできなかった	無回答
190808ESDダイアログ金沢 (n=35)	22	13	0	0	0	14	19	2	0	0

### (3) 役立つ情報や事例の有無について

- 役立つ情報や事例があったか否かたずねた設問では、33名が「あった」、残り2名が「どちらともいえない」と答えている。
- 具体的にどんな情報・事例が参考になったかの設問（自由記入）では、33名から回答があり、それぞれに参考になったプログラムや内容を記入しているが、特に尾島先生の取組紹介や他地域の状況が参考になったとする回答が目立つ。

3つの講演は本当に学びになった。そして話し合いは内容が濃かった。
ESD/SDGsについて、より明確になった。子ども主体の学び方の大切さを感じた。●グループでの話し合い●事例発表
ESDとSDGsのかかわり●舟橋小学校の実践から目指す子供像が具体的に理解できた。
ESDについての様々な考え方や方法を知ることができた。具体的に何かをするということも大切だが、今ある活動をESDやSDGsの視点から見る意識も必要だと分かった。
SDGsの考えを入れた方が子どもも取り組みやすいかも…と思いました。10年後の自分をイメージするというのは、いいアイデアだと思います。
各校の実践はもちろんESDに関わる人々の情報(教育に直接関わってない方からの)が目新しく、勉強になりました。
教育現場の体験とESD・SDGsのつながりがみえてきた。
金沢市の取組●尾島先生の実践
金沢市当局、尾島先生の発表がかなり良かったです。何らかの形で実践したいです。
経済教育、市民教育が大切であるという視点。
現在の活動でPRや発表をしなければいけなかったが、アドバイスをいただき、実践してみようと思った。尾島先生が子どもと楽しみながら活動されている報告を聞いて自分も楽しんで活動しようと思った。
子どもの思いを基に進めている舟橋小の実践
実践発表
若い先生方が学校の中でESD等を進める上で困難と出会っていることを理解できた。
舟橋小の取り組みにあったように子ども達が自分達で考えて行動できるように計画を立てていきたい。
小学校現場での実践例
先生方の構え●ESD/SDGsの関連性
全て
他県での取り組みやESD/SDGsの専門的知識
他地域の取組が分かってよかった。ESDの最新の動向が知れてよかった。
地域に関わる深い考えが聞けて良かった
地域の未来を担っていくのは、自分たち!!という意識を子どもたちに持ってもらうのが大事という当事者意識を持つ

ことへのプロセスをどのように企画し、実践していくのが、各グループの発表から感じられた。
地域や企業がたくさんSDGsに取り組んでいることが分かった。他校の良い取り組み(舟橋小の取り組みなど)
地域や行政との連携について
尾島先生の講演が良かった。
尾島先生の思い、教育観に触れ、とても素敵だと思いました。子どもの願いに寄り添い、主観的な学びを支える教師の役割に改めて気づきました。
尾島先生の実践から子どもが自ら課題を立てることの大切さと有効さを学びました。また、活動する中でうまくいかないことがあっても、解決のためにどうするか考えることで結果が出るということも学びました。
尾島先生の発表・講演
富山市でESDが浸透しているのを実感した。先生方がとても意欲的なのが印象的だった。
本校のESD活動について生徒にもう一度ESD(SDGs)の認識をすること。そうすることが地域を元気にすること、生徒の意欲づけにつながると思った。

#### (4) SDGs や ESD に対する意欲向上について

- 今回参加したことによって、SDGs や ESD に積極的に取り組む必要を感じたか否かたずねた設問では、30 名が「もっと積極的に取り組んでいきたいと感じられる内容だった」と回答しており、ほとんどの参加者の意欲向上につながったことがうかがえる。

	●今後のあなたの活動や取組で役立つ情報や事例などがありましたか					●SDGsやESDに今後も積極的に取り組む必要があると感じさせる内容でしたか				
	あった	なかった	どちらともいえない	無回答		もっとSDGsやESDに積極的に取り組んでいきたいと感じられる内容だった	これまでの取組方を続けていけば充分だと思える内容だった	SDGsやESDに取り組む必要性・重要性をあまり感じられない内容だった	よくわからない	無回答
190808ESDダイアログ金沢 (n=35)	33	0	2	0	30	3	0	0	2	

#### (5) 参加者の所感等（末尾・自由記入欄）について

- 末尾・自由記入欄には、22名の記述回答があった。
- 参加者の今回の交流会（ダイアログ）の感想が様々に記載されており、参加して良かった、自身の取組を振り返り今後どのように取り組んでいきたいかといった有意義な意見が記載されている。

ありがとうございました。
いろいろな方面、いろいろな立場からの多様な意見が聞けて良かった。
お世話してくださった方どうもありがとうございました。今後も取り組んでいくためのパワーがいただけました。
このまま推移すれば今後の地域、日本、世界が危うい。だから今、SDGs・ESDなんだということがわかりました。では具体的にどうしていけばいいのか、いろんな手立てを考えるためのヒントをいただいた意義のある研修でした。ありがとうございました。
ユネスコスクールに登録されているということ、ESD・SDGsに取り組んでいることを自分の言葉でまず説明できるようになりたいと思いました。もっと深く学び、子どもたちのためにより良い教育を目指していきたいです。ありがとうございました。
一人一人違うゴールであっていい。子供たちが自分のこととして考えられるように、まず土台となる知る活動をしてきたいと思いました。知ることで子供たち自身から課題を見つけてほしい。
遠い所まで来たかがありました。今後の学級づくり、授業づくりを見直し、改善・進化させていくよい機会になりました。また、教師側の構えも子供を育てるためには非常に重要だと実感しました。
各地域(北陸)の活動のような問題点、課題が分かって良かったです。教員関係の私にとってはESDの研修会としていた方が良かったです。(ESDとSDGsでは視点が違うため)
今日来させていただいて分かった事は学校で他の先生方に周知できるように取り組んでいきたいと思えます。
子供が課題意識をもち、自分事として本気で活動すること。活動を振り返って価値ある活動だと子供も思えること。そんな活動ができるよう学校で先生方に伝えたいと感じた。多くの方の意見や実践を聞くことができてよかった。
事前に抱えている課題や問題を集めて、その具体的な解決に向かって深めることが必要。
人とのかかわり、自然とのかかわり、地域とのかかわり…子どもたちの願いをかなえるための教育として、大切に

していかなければと思いました。
大変勉強になりました。将来を担う子どもたちがどう学んでいくべきかを考える良い機会だったと思います。是非また参加したいと思いました。
中学校は多忙な中、SDGsの活動を進めることは簡単ではありませんが、その中でも生徒の意欲を引き出し、自ら課題を考えて活動することは生徒にとっては有効であり、達成感のあるものだと思います。できる限り計画を立てて、実践していきたいと思います。
熱意ある先生方とともに情報交換・共有をしながら、地域や学校での実践や取り組みへの思いにたくさん触れることができ大変学びの多い時間となりました。自校の生徒にとってどのような意義のある活動かを再度見直しながら、今後の社会や人のあり方についても学び(視野)を深めつつ過ごしていきたいなあと思いました。●講義+ディスカッションという流れも、皆さんのお考えや熱量に触れることができ、刺激をいただきました。集まる所にはその場に同じ思いの方が集まるということもまた再認識し、心強く感じました。●貴重な機会に参加をさせていただき感謝しております。ご準備等ありがとうございました。(広くご案内もありがとうございました。)●P.S.今日は金沢市2030に向けての取り組みを拝聴できるのを楽しみに参りました。街づくりのための詳しいkeywordを知ることができ、(&資料もいただけて)嬉しかったです。ありがとうございました。
本校の子どもたちは、地元のことが大好きです。地域の発展について考える子を今後も育てていきたいと思います。
他の学校の様々な取り組みを知ったり、SDGsについて今後どのように取り組んでいくとよいか少しわかった。遠くから来ている人がいるので終わりの時刻は守ってほしかった。
短い時間の中でたくさんのお話を聞いて刺激を受けました。資料は番号があると交流がもっとしやすいと思います。ありがとうございました。皆さんの思いはありますが、電車もあるので時間は守っていただきたいと思います。
話し合い、まとめる時間が短かった。
グルーピングを、行政と学校で分ける。さらに校種別にすると、互いに迷いや悩みを出し合えるメリットがあるのではないかと。
ワークショップの運営についてもっと整理した方がいい。●参加者の階層は固定化していないか？
資料に通しのページをふっていただけると参照しやすくなると思えます。

## (6) 回答者の属性について

- 回答者の属性は、男性が 15 名、女性は 15 名の同数となっている（残り 5 名は不明／無回答）。

	●性別		
	男性	女性	不明
190808ESDダイアログ金沢 (n=35)	15	15	5

- 年齢層は、20代から70代以上までそれぞれに回答者があり、幅広くバランスのとれた年齢層による参加となっていた。

	●性別							
	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
190808ESDダイアログ金沢 (n=35)	0	6	5	6	8	4	4	2

- 所属先は「学校・教育関係」が 27 名の最多で、ほとんどの参加者がユネスコスクールの教師や関係者であったことが表れている。

	●所属先					
	NPO・NGO・任意団体	企業・事業者	行政機関	学校・教育関係	その他	不明
190808ESDダイアログ金沢 (n=35)	4	0	1	27	1	0

- 所属先の活動分野、関連する SDGs を 17 ゴールから複数回答で選択する設問に対しては、「11.住み続けられるまちづくり」が 23 名で最も多く、次いで、「4.質の高い教育をみんなに」の 21 名、「15.陸の豊かさを守ろう」の 15 名が多くなっている。

●活動分野のSDGs									
	1. 貧困をなくそう	2. 飢餓をゼロに	3. すべての人に健康と福祉を	4. 質の高い教育をみんなに	5. ジェンダー平等を実現しよう	6. 安全な水とトイレを世界中に	7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	8. 働きがいも経済成長も	9. 産業と技術革新の基礎をつくろう
190808ESDダイアログ金沢 (n=35)	3	4	9	21	5	3	8	6	2
	10. 人や国の不平等をなくそう	11. 住み続けられるまちづくりを	12. つくる責任、つかう責任	13. 気候変動に具体的な対策を	14. 海の豊かさを守ろう	15. 陸の豊かさを守ろう	16. 平和を公正をすべての人に	17. パートナーシップで目標を達成しよう	無回答
190808ESDダイアログ金沢 (n=35)	5	23	7	10	7	15	9	8	4